

福島県立会津農林高等学校開校式 福島県教育委員会教育長式辞

本日、内堀雅雄知事、遠藤忠一喜多方市長、古川庄平会津坂下町長を始め、多くの御来賓の御臨席の下、福島県立会津農林高等学校の開校を迎えることができましたことは、誠に喜ばしい限りであります。

この晴れの日を迎えることができましたのは、ひとえに、統合校の誕生に向けて地域の皆様から頂いた熱意あふれるお力添えの賜であり、心温まる御支援に深く感謝申し上げます。

さて、本校は、耶麻農業高等学校及び会津農林高等学校の長年の歴史と伝統を引き継ぐとともに、会津地区唯一の農業高校として、「未来創造・耕土耕心・誠実礼和」の校訓の下、農業の学びを通して、真理を探究し、新しい時代を切り拓き、地域社会を担う、健全で心豊かな人間を育成するため、生徒一人一人を大切に丁寧できめ細かな教育を展開してまいります。

本校では、新たに「生産科学科」、「環境科学科」、「食品科学科」、「地域創生科」の四つの学科を設けました。生産科学科では農業生産や農業経営に関する学びを、環境科学科では森林保護や環境創造に関する学びを、食品科学科では食品製造や食品流通に関する学びを、そして地域創生科では地域の資源活用や地域振興に関する学びを、それぞれ展開してまいります。また、学科を超えた学びとして、生産物を加工し、販売する、いわゆる「六次産業化」に対応した学びを全学科で展開するなど、地域の産業を支える人材を育てる教育を実践してまいります。

また、本校では、喜多方市耶麻地区も学びのフィールドに含め、総合的な探究の時間における探究的な学びなどを通して、地域と連携した課題解決型の教育活動を展開してまいります。

生徒の皆さんには、このような新しい教育環境の下、福島県立会津農林高等学校の生徒としての誇りを胸に、高い志を抱き、自分の夢や希望に向かって大きく羽ばたいていくことを心から期待いたします。

また、教職員の皆さんには、本校が、会津地区唯一の農業高校として開校する意義と、希望に胸を膨らませている生徒たちの思い、そして本校に寄せられる県民の期待をしっかりと受け止め、本校教育の充実発展のために尽力されるようお願いいたします。

結びに、本日御臨席を頂きました皆様には、本県教育の充実と本校の発展のため、今後ともなお一層の御支援、御協力を賜りますようお願い申し上げ、式辞といたします。

令和五年四月十日

福島県教育委員会教育長 大沼 博文
代読 福島県教育委員会委員 成澤 勝蔵